

豊崎東小学校

所在地	〒531-0062 北区長柄中2-3-30	
電話番号	06-6351-4920	
校長名	鬼塚 光晴	
URL	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e511010	

教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもを育てる。

沿革

大正 6年11月	大阪府西成郡豊崎第四尋常小学校として設立開校
大正14年 4月	大阪市へ編入 大阪市立豊崎第四尋常小学校と改称 講堂(木造平屋)できる
昭和16年 9月	学制変更により、大阪市立豊崎東国民学校と改称
昭和21年 4月	大阪市立豊仁国民学校戦災のため、本校で共に学習する
昭和22年 4月	大阪市立豊崎東小学校と改称
昭和29年 4月	豊仁小学校、本校より分離 独立
平成 9年 3月	豊東わくわくランド(第2運動場)完成
平成23年 4月	完全二日制の実施
平成29年11月	創立100周年記念行事開催

学校運営に関する計画

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- 基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現
 - ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
 - ・ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
 - ・ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
 - ・ 本市調査における「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらいSNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか。」に対して、3時間以上と回答する児童の割合を30%以下にする。
- 基本的な方向2 豊かな心の育成
 - ・ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上
 - ・ 小学校学力経年調査における、国語の学力に課題の見える児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
 - ・ 小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見える児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
 - ・ 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 基本的な方向5 健やかな体の育成
 - ・ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を、男女ともに前年度より1ポイント向上させる。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- 基本的な方向6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
 - ・ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)
- 基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり
 - ・ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を78%以上にする。
- 基本的な方向8 生涯学習の支援
 - ・ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75.5%以上にする。
 - ・ 小学校学力経年調査における「学校図書館やその蔵書を活用した授業を計画的に行いましたか」に対して、「週に1回程度、または、それ以上行った」又は「月に数回程度行った」と回答する学級担任の割合を78%以上にする。
- 基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進
 - ・ 保護者アンケート「学校は、学校だよりや学年だより等を通して、学校や子どもの様子がわかる工夫をしている」「学校は、学習参観や学校行事等、保護者や地域の方が学校に行く機会を多く設けている」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を前年度より増加させる。

【※詳細は学校ホームページをご覧ください】



令和5年度全国学力・学習状況調査の結果

国語	算数
70	66

平均正答率(%)

■結果の概要・取組の成果と課題

今年度も、国語・算数ともに、全国平均・大阪市平均を上回った。

【国語】令和4年度より2%向上しており、5つある領域のうち3つで、全国と大阪市の平均を上回ったが、「情報の扱いに関する事項」「書くこと」の2項目に関しては、下回ってしまった。平均無解答率においては、全国平均を大きく下回る結果であった。

【算数】令和4年度と同じく平均正答率は70%で、3つの領域で全国と大阪市の平均を上回った。国語と同様に、平均無解答率においても全国平均を大きく下回った。

総じて、国語と算数ともに基礎学力が高まってきたことを示す結果であったが、国語の2領域に関しては、しっかりと要因を分析し取り組んでいかなければならない。

各領域や個々の児童の結果を細かく分析すると、学力の二極化や個々の児童の支援すべき要点が明白になってくる。児童一人ひとりの課題に対して、個に応じた丁寧な指導を進めていく。また、算数の「データの活用」の領域や国語の「情報の扱いに関する事項」の領域が、本校児童のウイークポイントであることが明確になった。両領域には関連性が見られるので、基礎・基本の学習を大切にすると共に、発展的な学習を個々の児童に応じて計画的に取り組んでいく。生活面では、日々の学校生活や授業・特別活動等を含む全ての教育活動を通して、学年・学級集団の中で互いに違いを認め合い、児童一人ひとりが考えて行動し、自己肯定感や自尊感情を高め、命を大切にする児童をめざし取り組んでいく。

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	体力合計点
男子	14.85	17.69	32.15	35.38	39.23	9.65	140.62	19.46	47.85
女子	16.91	15.09	41.45	34.82	37.55	9.28	141.64	12.09	54.28

(種目別平均値)

■結果の概要・取組の成果と課題

体力合計点は、男子が47.85で大阪市平均を下回り、女子は54.28と大阪市平均を上回っている。「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に対して、肯定的な回答をした児童の割合は男子92.8%、女子100%と全国平均を上回り、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合も4%と少ない結果であった。また、体育の授業でICTを使用し「できたり、わかったり」することがあると答えた児童は37%であり、大阪市平均を下回っている。

取り組みの成果として、体育の授業で副読本や学習カードを利用し、児童の意欲を高めたり、成長を感じたりすることができるよう工夫をしている。また、自分に合った練習方法を選ぶよう場の設定を工夫したり、友達と話し合ったり、協力し合う場の設定に取り組んでいる。

また、体育の授業以外でも全校でなわとび週間やかけ足週間を設定し、体力の向上に努めている。課題として、体育の授業以外で運動やスポーツをしていない児童も一定数いるため、学級遊びや遊びの紹介など、運動の機会を増やす取り組みも必要である。より「できた」、「わかった」と感じる児童を増やすため、よいイメージをもったり、自分の動きを振り返ったりできるようにICT機器の活用をすすめていく。そうすることで、成功体験を増やし体力の向上に取り組む。

標準服

【男子】

- 夏服 白カッター / ポロシャツ
紺半ズボン
- 冬服 紺上衣
白カッター / ポロシャツ
紺半ズボン / 長ズボン

【女子】

- 夏服 白ブラウス / ポロシャツ
紺スカート
- 冬服 紺上衣
白ブラウス / ポロシャツ
紺スカート / 長ズボン



入学式



春の遠足



スポーツテスト



商店街見学



林間学習(ハチ高原)



水泳指導



修学旅行(滋賀・鳥羽方面)



運動会



社会見学



社会見学



豊東わくわくランド



修学旅行(滋賀・鳥羽方面)



運動会



卒業遠足



卒業遠足



かけ足大会